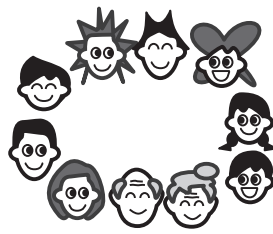


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

NPO法人
訪問歯科診療
を広める会
賛助会員

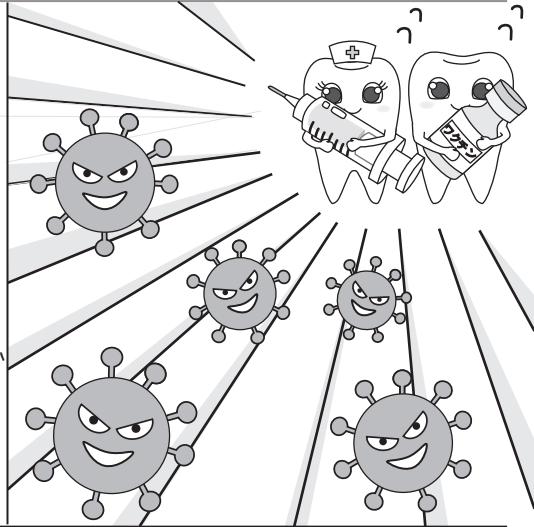


令和3年2月号
発行人 津谷歯科医院
院長 津谷良
住所 岡山市中区海吉1807-14
紙面に関するお問い合わせは下記まで
電話：0120-779-418
配信代行：訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

長期間のマスク着用は、会話や感情表現を制限するため、顔の筋力が落ちて、口腔機能の低下が懸念されることを前号でご紹介しました。口腔機能の維持は、健康寿命の延伸とQOLの向上を図る上で重要であり、令和3年4月の介護報酬改定でも、その充実に向けた具体策の検討が進められています。入所系では提携歯科と連携して『口腔衛生管理』が約50%で実施され効果を上げていますが、居宅系の通所サービスでは『口腔機能向上サービス』が設けられているにもかかわらず実施している事業所は12%とわずかです。利用者に必要性をうまく説明できない、対象者の把握ができないことが実施しない理由です。今月は、『口腔機能～必要性とスクリーニング』についてです。



■ 口腔機能を維持する必要性とは・・・

口腔機能を支えているのは歯や舌、顔や喉の周囲にある筋肉等です。口腔機能とは、噛む・飲み込む・話す・感情表現・呼吸といった機能のことです。人が生きる上でとても重要な役割を担っていますが、口腔機能を維持・向上させることによって、日常生活の中では次のような効果が期待できます。

- ◎ 食べる楽しみを得ることから生活意欲の高揚がはかれる
- ◎ 会話・笑顔がはずみ社会参加が継続する
- ◎ 自立した生活と日常生活動作の維持・向上がはかれる
- ◎ 低栄養・脱水が予防できる
- ◎ 誤嚥、肺炎、窒息の予防ができる
- ◎ 口腔内の崩壊（むし歯、歯周病、義歯不適合）が止まる
- ◎ 経口摂取の質と量が高まる

平成21年『口腔機能向上マニュアル』より

さらに口腔機能向上サービスの実施前後で、“むせ”を自覚する方の割合が40%から10%へ減少する等、早期に口腔機能の課題を発見すれば、改善の効果も期待できます。口腔機能の衰えがひどくなってからでは回復が困難となりますので、その前段階での介入が極めて重要となります。

■ 対象者のスクリーニング

厚労省による調査では、通所サービス利用者のうち半数以上で口腔機能低下症が認められています。通所サービスで口腔機能向上サービスが実施されれば自立支援・介護の重症化予防に大きな効果が期待できます。実は口腔機能が低下しているかどうかを介護職の方でも簡便に評価できる口腔スクリーニング法があります。使用するのは、自治体等の相談窓口で広く使用されている『基本チェックリスト』の中の13～15番目の質問項目だけです。

- 13 半年前に比べて硬いものが食べにくくなった
- 14 お茶や汁物等でむせることがある
- 15 口の渴きが気になる

この3つのうち2項目以上に該当すれば、口腔機能の低下が認められることになり、口腔機能向上サービスの対象者と判定できます。その他にも、口腔内の衛生問題を視診で確認することや反復唾液嚥下テストが3回未満であれば口腔機能低下と判定できますが、この2つは歯科の専門職が歯科健診等で実施・判断するのが現実的です。お気軽にご相談ください！

◆ 歯科治療における新型コロナの感染拡大報告はありません。安心して受診してください！ ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって 

ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとても増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」って話をしていたのに・・・そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

- 診療時間 9：00～12：30/14：00～18：30
(土曜日は16：30まで)
- 診療科目 歯科 小児歯科
- 休診日 木曜・日曜・祝祭日
- 院長 津谷 良
- 岡山市中区海吉1807-14
- ☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413